

科目名	作業療法総合演習Ⅳ					授業の種類	演習	必修・選択		必修
授業回数	15	回	時間数	30	時間	1	単位	配当学年時期	2年	後期
【授業の目的・ねらい】 作業療法として必要な高次脳機能障害の知識を学び、観察や検査を用いて評価できる技術を身につける										
【実務者経験】 作業療法士として順心リハビリテーション病院にて、身体障害領域の幅広いリハビリテーションに従事経験。										
【授業全体の内容の概要】 高次脳機能障害の評価に必要な観察や面接、検査を実技を通して学ぶ										
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 高次脳機能障害の知識を深め、評価するための技術を身につけ、高次脳機能障害への評価・介入に役立てることができる										
回数	講義内容								準備物(教材)	
1	オリエンテーション、面接・観察									
2	注意機能障害									
3	注意機能障害									
4	半側空間無視									
5	半側空間無視									
6	認知の障害（失認、構成障害、着衣障害）									
7	認知の障害（失認、構成障害、着衣障害）									
8	言語障害									
9	記憶障害									
10	記憶障害									
11	行為・行動障害									
12	行為・行動障害									
13	遂行機能障害									
14	遂行機能障害									
15	感情障害、社会的行動障害									
定期試験										
【使用教科書・教材・参考書】 作業療法学 ゴールド・マスター・テキスト 高次脳機能障害 作業療法学 長崎重信										
【準備学習・時間外学習】 検査の目的や意義を理解し、それぞれの検査が行えるよう復習しておく										
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】 試験の結果を100点満点として成績を評価する 課題の評価を50点、定期試験を50点として合計100点とする 60点以上の場合に科目を認定する										